

解 答 速 報

日本医科大学(前期) 英語

2020年 2月 2日実施

[I]

問 1 (思考, 記憶, 問題解決のような過程において,) 人間の認知能力を向上させてくれる道具。

問 2 (1) (い)

(2) このことは既存の法律実務を代替するものではなく, 補完することを意図したものである。

問 3 (1) The(the) Arabic number system, the abacus

(2) 物理的に道具が存在しない状況であっても, ある程度はそれを頭に思い浮かべて使い続けることができる。

問 4 そろばん

問 5 記号: (い)

理由: 最終段落最終文に基づく。

(参考:電卓のような **competitive cognitive artifacts** は,そろばんのような **complementary cognitive artifacts** とは異なり, その場に電卓がないと認知能力の向上が一切期待できなかったり, 電卓に頼りがちな人間は簡単な暗算すらできなくなるといった弊害を生むから。)

【講評】

人間の数的認知を補助する発明に関する文章。文章そのものは非常に平易で読みやすいが, さまざまな **cognitive artifacts** に関して本文中でなされている対比構造を正確に把握し, 答案に反映する必要がある。

[II]

(解答例 1)

A notebook is an example of a complementally cognitive artifact in that it enables us to retain what we have learned for a longer period by writing things down, and it usually enhances our mental ability.

On the other hand, search engine is an example of a competitive cognitive artifact in that while both are helpful, it may impair our ability to use our brain, thus making us less intelligent.

(解答例 2)

A paper-based map is an example of a complementary cognitive artifact. While we can navigate with a map at hand, it is possible for us to navigate even without a map, by visualizing some landmarks in our brain and imagining our position and directions. In this case, it can be said that our cognitive ability is aided by a complementary cognitive artifact.

On the other hand, GPS navigation system is an example of a competitive cognitive artifact. It gives us directions automatically, but we do not have to use our own cognitive skills at all. Therefore, it competes with our own cognitive skills.

【講評】

昨年度と同様、直前の長文に関連したテーマの自由英作文が出題された。解答欄は昨年度とほぼ同等のサイズ（14 行程度）であったようだ。論理の一貫したパラグラフ・ライティングの力が求められる。

[III]

問 1 A : help B : affected C : responding D : confirmed E : offered

問 2 段落 2 : (3) → were

段落 3 : (3) → subjects

段落 4 : (3) → in

【講評】

気候変動に対する人々の態度に関する文章。長文の内容は平易で、空所補充にも取り組みやすい。誤謬訂正も明白なものばかりであった。いかに速く処理するかが鍵となろう。

[IV]

- 問1 (1)(a) (2) a
 問2 (1)(b) (2) c
 問3 b, e
 問4 (1) a (2) c
 問5 (1) d (2) e
 問6 (1) a (2) b
 問7 (1) d (2) b
 問8 (1) a (2) c

【講評】

発音・アクセント、および語彙に関する一問一答形式の問題。語彙の出題があるのは例年通りであるが、問4～問8は語義の説明からふさわしい単語を選ぶ形式で、新傾向であった。

[V]

1. b 2. b 3. d 4. b 5. a 6. d 7. a, c, d
 8. a, b, d 9. a 10. b

【講評】

人類の進化と分類に関する文章。7. のcについては、第1段落第3文の for the last 10,000 years, our species has indeed been the only human species around という記述と整合するかがやや微妙であるが、dominant とは「(劣勢に対しての) 優勢」を表す語であり、the only human species であれば dominant になりようがないという見地から誤文と判断した。

【総評】

出題傾向自体は例年とほぼ同様だが、大問の数が昨年度より1つ増え5題構成となった(長文中の適語補充と誤謬訂正で独立した大問が設置された)。長文は全体に平易なものの、問いは精密な読解を要するものも多く一筋縄ではいかない。特に、日本医科大学に特有の「適する選択肢をすべて選ぶ」タイプの問いには注意が必要である。制限時間に比して問題数も多いため、すぐに解ける問題を見極めて円滑に処理する力が求められる。また、発音・語彙の問題ではやや高難度のものも出題されるため、日頃から辞書等を丁寧に参照する習慣をつけることが肝要である。

メルマガ無料登録で全教科配信! 本解答速報の内容に関するお問合せは YMS ☎03-3370-0410 まで

☎ 03-3370-0410

受付時間 8~20時 土日祝可
<https://yms.ne.jp/>
 東京都渋谷区代々木 1-37-14



☎ 0120-146-156

携帯からOK 受付時間 9~21時 土日祝可
<https://www.mebio.co.jp/>
 大阪府中央区石町2-3-12ベルヴォア天満橋